

新生涯学習制度移行後の研修部の役割について

卒業後5年間（前期2年、後期3年）で多様な障害像に対応できる「ジェネラリスト」育成以降は登録理学療法士（5年更新）、認定・専門PT（5年更新）

登録理学療法取得まで

（1コマ1.5時間、講義は1コマか2コマで1講座で記載）

前期 座学 22 コマ（33時間） 実地研修 32 コマ（48時間）

内容

初期研修 6 講座
理学療法の基礎 6 講座
理学療法の専門性 6 講座
+ 実地研修、eラーニング、症例検討会聴講

- ・前期項目の実地研修と症例検討以外は協会 eラーニングで取得可能
- ・初期研修 6 講座はこれまでの卒業後教育部主催 1 日研修と同じような内容
これまでは協会からの共通スライドをもとに卒業後教育部員と士会役員が講義を担当

後期 座学 51 コマ（76.5時間） 実地研修 3年

内容

臨床推論 3 講座
臨床疫学 2 講座
領域別研修 10～15 講座（コマ数が講義内容により違うため）
士会で行う研修は士会オリジナル（神経系、運動器系、内部障害系、病期別）のみか。

関連領域 4 講座
領域別研修（事例） 3 講座 症例検討への参加
領域別研修（育成） 3 講座
最近の知見 8 講座 eラーニングのみ

- ・領域別研修（育成）はこれまでの卒業前教育部主催研修と同じような内容
- ・後期研修は実地研修以外は協会 eラーニングで取得可能

前期後期を通して

前期、後期ともに、実地研修と症例検討以外は全て協会主催 eラーニングで受講可能

登録理学療法士以降 5年更新のためのポイントは士会主催の研修で取得可能か
認定・専門PT取得のためのポイントは士会の研修で取得可能か分からない
兵庫県士会としてどのような研修方針とするか

- ・前期の初期研修はこれまで同様1日研修で行うのか
- ・後期の領域別研修（育成）はこれまで同様卒前教育部が主催するのか
- ・その他の研修は、県士会で可能な範囲で講義を開催する
or 全ての項目を士会で開催する（たぶん25講座）←内容が多岐にわたるため難しいか
- ・これまで、ポイントをつけていない部があったため
各部、支部で行う研修はすべてポイントをつけてもらうようにし、
運営にあたるマニュアルを作成し周知させるか
 マニュアル内容 開催方向
 講師選定基準、講師料
 講演資料作成にあたる著作権遵守の方法 など
- ・これまで同様、1つの研修会で、前期と後期、登録理学療法のポイントが取得可能か
必要研修時間 新プロ1時間、生涯学習3時間
現在の3時間以上の研修では、講師が認定または専門PTであれば、新プロと生涯学習ポイントのどちらも申請可能。
- ・部の再編と各部の役割はどのようになるのか